

## 保護者・学校・地域が共働で取り組む地域貢献活動事例紹介

### 「できる人ができる時に！」地域で子どもたちを見守る「ひらのっ子見守り隊」

平野小学校区では、地域の有志が毎朝、通学路に立ち、横断歩道で安全を確認したり、笑顔で挨拶を交わしたりしながら、子どもたちの登下校の見守り活動をしています。

#### 活動のきっかけ

これまで、PTAの地区委員が登下校の見守り当番表を作成し当番の保護者が児童の登下校を見守ってきたが、令和7年度よりPTA組織の委員会制を見直し、ボランティア制へと移行した。このことに伴って、登下校の見守りを広く募ることに。校区内である牛頸区・若草区へ相談し、区民にチラシの回覧で地域住民の協力を募集。保護者に対しては、学校だよりやPTA本部からの協力依頼で呼びかけた。

今年2月に「ひらのっ子見守り隊」が発足。

「できる人ができる時に」をモットーに、保護者・学校・地域が連携しながら、子どもたちの安心安全な環境づくり活動をするようになった。

#### 活動概要

**活動内容** 子どもたちの登下校時の見守り活動

①時間は10分でもOK

②家の前でも、通勤、散歩や買い物などのついででもOK

**活動エリア** 平野小学校区（牛頸区・若草区）

**メンバー** 各区の有志 約20人（PTAを除く人数）

※活動後、まどぷらカードを公民館へ持参しポイントをもらう

#### 活動者の声

◇子どもたちの元気な挨拶や笑顔に励まされると、活動を継続する意欲が湧く。地域住民の交流も増え、子どもを中心にした新しいつながりが生まれていると感じる。

◇体調が悪く活動ができない日が続き、久しぶりに活動したとき、子どもたちが心配してくれた。活動を通して顔見知りになり、夏祭りや地域の活動に参加する子が増えた。また、公民館へ遊びにくる子も増えた。

◇学校運営協議会で、「自分たちの地域は安全な地域だ」とアンケートに答えた子が多く、この活動や思いが子どもたちの安心安全につながっていると感じた。



#### 学校の声



子どもたちは安心して登下校できるだけでなく、地域の人々に見守られているという実感を持ちながら成長しています。

毎朝の挨拶を通じ、子どもたちは人と関わる大切さを学んでおり、教育の面でも意義深い取り組みだと感じています。

「ひらのっ子見守り隊」の皆さんの存在は、学校や保護者、子どもたちにとって、大変大きな支えです。心より感謝しています。

平野小学校 校長 斉藤智子  
主幹教諭 藤田浩司

### ボランティアを始めてみませんか？

「興味はあるけどどうすれば？」「どんな活動があるの？」

そんなときは、パートナーシップ活動支援センターまで気軽に相談してください。

わたしたちがあなたの一步を応援します。

パートナーシップ活動支援センター職員一同

